

## 「ハーシュネス」

「自動車用セミアクティブダンパ制御の開発」(p.30)に記載

KYB技報編集委員 米澤和彦

1

### ハーシュネスとは

自動車が舗装路の継ぎ目や段差、突起などの凹凸を通過したときに、衝撃音と振動を発生する現象をハーシュネスといいます。

体感的には、タイヤが路面から受けた上下方向または前後方向の強い衝撃力(図1)がサスペンションを通して車体に伝わることでシートやフロア、またはステアリングから振動を感じるようになります。

バイアスタイヤに比べてエンベロープ特性<sup>注1)</sup>が不利なラジアルタイヤの普及とともに問題視されるようになった現象です。

ハーシュネスはサスペンションの前後方向または上下方向の剛性とも関連があり、それらが高いとハーシュネスも悪くなります。

注1) タイヤが突起に乗り上げたときに、タイヤのトレッド面が突起を包みこんで突起から受ける力を吸収する特性。

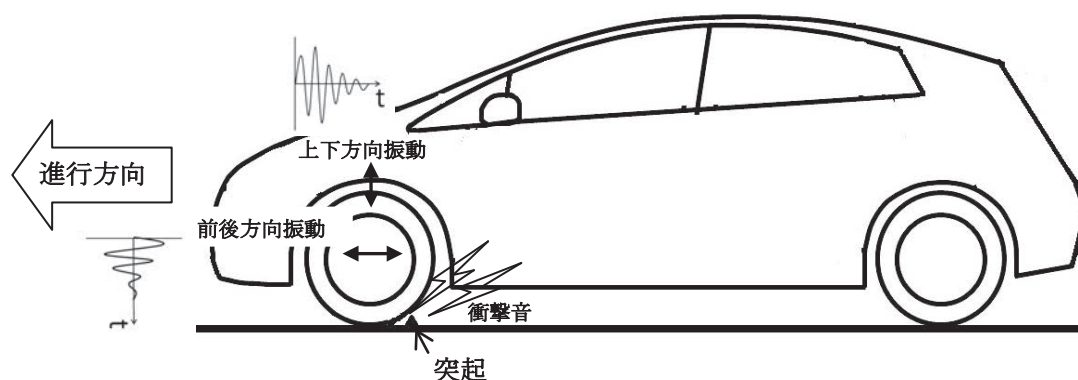


図1 突起を通過した時に車体に伝わる衝撃音と振動